

爪ミネラル分析レポート



お客様番号	B00100004		
お名前	EBS 花子 様		
年齢	22歳	性別	女性
受付日	2007/03/20	報告日	2007/03/29

[標準値について]

爪ミネラル標準範囲は、多数の日本人の健康者ボランティアから提供された爪ミネラル分析結果を、東京大学大学院工学研究科縄田研究室の協力を得て得られた統計解析結果に基づいて決定されたものです。

■ 有害ミネラル 体内に過剰蓄積されると様々な生理機能や代謝機能に悪影響を及ぼす可能性のあるミネラル

元素名	測定値 (ppm)	前回値 (ppm)	標準範囲 (ppm)	低レベル	中レベル	高レベル
アルミニウム	8.6	0	51以下	■		
鉛	0.41	0	3.34以下			
水銀	2.05	0	2.10以下	■	■	
ヒ素	0.06	0	0.393以下	■		
カドミウム	0.05	0	0.106以下	■		

■ 主要必須ミネラル 人間の栄養素として必要なミネラルのうち、体内存在量および必要量が多いもの

元素名	測定値 (ppm)	前回値 (ppm)	標準範囲 (ppm)	欠乏傾向	標準範囲	過剰傾向
カルシウム	559.5	0	480~2040	■		
リン	148.8	0	165~630	■		
ナトリウム	45.3	0	12.9~379	■		
カリウム	16.5	0	17.4~181	■		
マグネシウム	80.5	0	44~175	■		

■ 微量必須ミネラル 人間の栄養素として必要なミネラルのうち、体内存在量および必要量が少ないもの

元素名	測定値 (ppm)	前回値 (ppm)	標準範囲 (ppm)	欠乏傾向	中レベル	過剰傾向
亜鉛	183.9	0	65~325	■		
銅	8.86	0	4.0~19.4	■		
セレン	1.15	0	1.01~2.46	■		
クロム	0.54	0	0.26~2.64	■		
マンガン	0.41	0	0.074~0.87	■		
コバルト	0.01	0	0.001~0.054	■		
モリブデン	0.017	0	0.004~0.057	■		

[注 意] 爪ミネラル分析は爪中に含まれるミネラル成分の定量分析結果であり、医学的な診断結果ではありません。分析値が標準範囲から大きくはずれ、健康上の障害が懸念される場合には、改めて他の医学的検査を併用することにより医師による総合診断を受けることをお奨めいたします。

[分析 方法] ICP-MS (誘導結合プラズマ質量分析計) 法

爪ミネラル分析レポート

EBS 花子 様

爪ミネラル検査結果について

1. 有害ミネラル

中レベルの有害ミネラルが検出されました。有害ミネラルは食事や環境から体内に入り込みます。主にアルミニウムは調理器具や水道水等、鉛は水道水・タバコの煙等、水銀は魚介類、アマルガム(歯の詰め物)、予防接種ワクチン等、ヒ素は魚介類、穀物類等、カドミウムは穀物を通じて体内に入ることが知られています。

2. 栄養ミネラル

前ページのように、欠乏傾向の栄養ミネラルが認められました。それらの栄養ミネラルは、別紙栄養ミネラル説明書に示しました食材等に含まれています。それらの食材を日常食生活に組み込み、バランスのとれたミネラル栄養状態になるように努力しましょう。

